市内3カ所 竜巻等が直撃

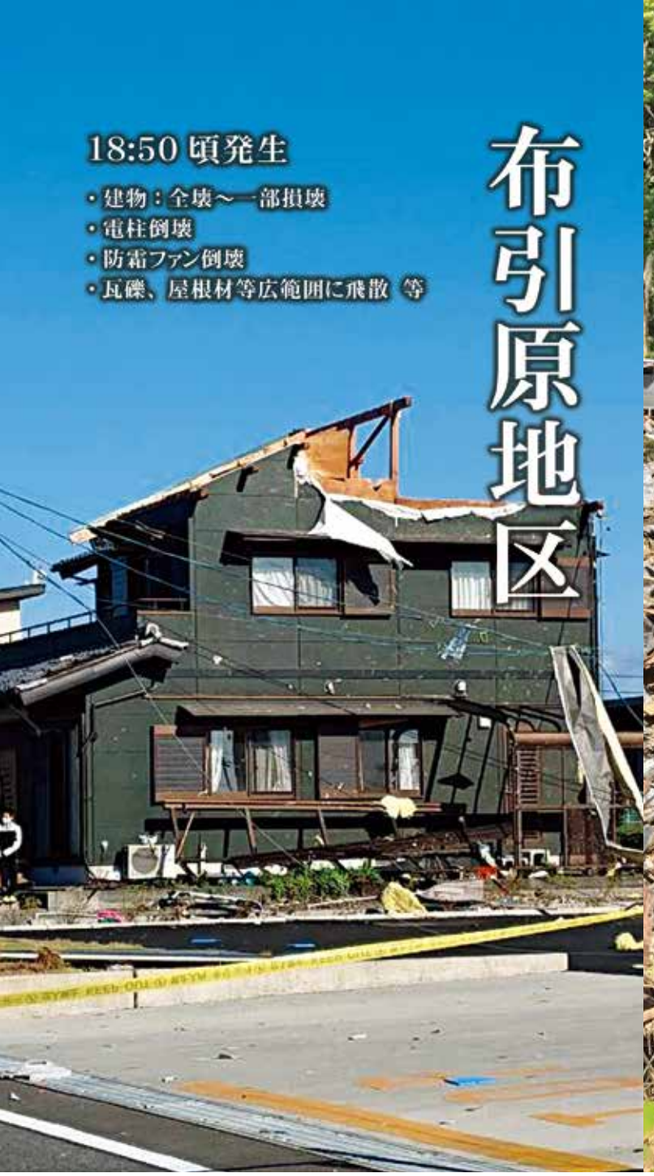
最大風速55m／秒 一瞬の出来事だった

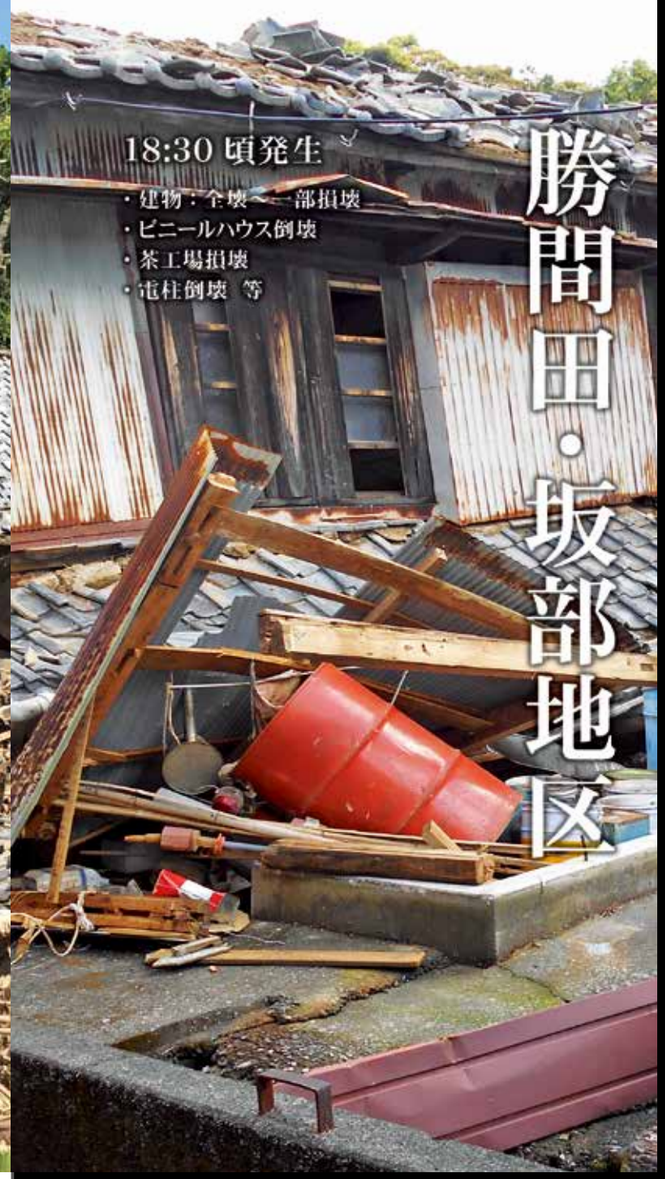
八十八夜を迎えた5月1日午後6時30分ごろ、布引原地区、勝間田・坂部地区、須々木地区の3カ所を突風が襲った。「令和3年5月1日牧之原市竜巻等災害」である。

静岡地方気象台の調査によると、最大風速は布引原地区で55m／秒、勝間田・坂部地区で40m／秒。「竜巻の可能性が高い」または「竜巻の可能性がある」という未曽有の突風被害だった。

夜が明けると、次々に被害が判明してきた。救急搬送されたけが人は3人。建物の全壊・一部損壊は合わせて140棟以上。停電1840戸。損壊した農業用ハウスは35棟。被害は、お茶やトウモロコシなどの農作物にも及んでいた。

自宅の瓦屋根が飛び、窓ガラスが割れる被害を受けた布引原地区の市民は「突然ゴーっというすごい音がした。外を見たら視界ゼロで、ガラス戸が風で波打っていた。15秒くらいの一瞬の出来事だった」と話してくれた。





市民の皆さまへ

この度の「令和3年5月1日牧之原市竜巻等災害」により負傷された方々、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

また、復旧作業に懸命に取り組んでいただいた多くのボランティアの方々に敬意と感謝の意を表します。

静岡地方気象台の報告では、ほぼ同時刻に市内3カ所で竜巻等の突風が発生したということです。布引原地区の最大風速は55m／秒と推定されています。この過去に例を見ない突風により、140棟以上の建物や農業用ハウスの損壊など、多大な被害が出た一方で、人命にかかわる被害がなかったことはせめてもの救いだと考えております。

上皇様、上皇后様からは、宮内庁を通じてお見舞いのお言葉をいただきました。

市は現在、被災者支援と復旧に全力で取り組んでいます。また市内外から、多くの義援金も寄せられています。被災者の方々が抱える課題の解決に全力を注ぎ、国や県、関係機関と連携しながら、できることは全てやるという覚悟を持って、市民の皆さまをしっかりとお支えしてまいります。

牧之原市長　杉本基久雄

市では義援金を募集しています。
詳細は市のホームページをご覧ください。

竜巻等災害の爪痕

▶災害時系列

5月1日土
- 18:30　突風が発生　建物被害や停電が発生
- 19:36　消防団出動要請（166人）
- 20:13　市が災害対策本部設置
- 20:55　牧之原区中央町内会公民館に避難所
- 23:10　人的被害の確認完了（負傷者３人）

5月2日日
- 08:15　罹災証明書などの受付を開始（社会福祉課）
- 09:30　静岡地方気象台が現地調査（牧之原区、勝間田区、坂部区）
- 09:30　榛原牧之原区、勝間田区、坂部区に災害廃棄物の一時仮置き場設置

＊地元ボランティアおよそ80人が活動開始

5月3日月
- 00:16　市内の停電が全て復旧（中部電力による）

5月4日火
- 10:00　環境省による現地確認および廃棄物処理に関する助言・指導
- 11:30　静岡地方気象台が現地調査（須々木地区）

5月5日水
- 08:40　市道全面通行止め全線解除

5月11日火
- 16:30　農林水産省に支援を要望

5月12日水
- 13:40　環境省に支援を要望

▶被害状況　（5月31日現在）

人的被害	けが…３人（全員軽傷）
住家	全壊…なし 半壊…６棟 （住家５棟、アパート１棟） 一部損壊…94棟
非住家 （物置、倉庫、車庫）	全壊…８棟 一部損壊…37棟

▶農業用施設（ハウス）の損壊…12棟▶農作物の被害…茶畑（飛来物落下）15.5ｈａ、トウモロコシ45ａ、イチゴ82ａ、トマト30ａ▶倒木…７カ所▶通行止め…10カ所▶車両横転…５台（道路上のみ）▶停電…1,840戸（最も多かった時）▶防霜ファンの倒壊・傾斜…70本▶電柱の倒壊・傾斜…18本

▶復興に向けた市の動き

01　災害廃棄物の処理について

環境省の支援および補助金を受けて処理

02　住宅などの再建について

県の自立生活再建支援補助金を受けて支援

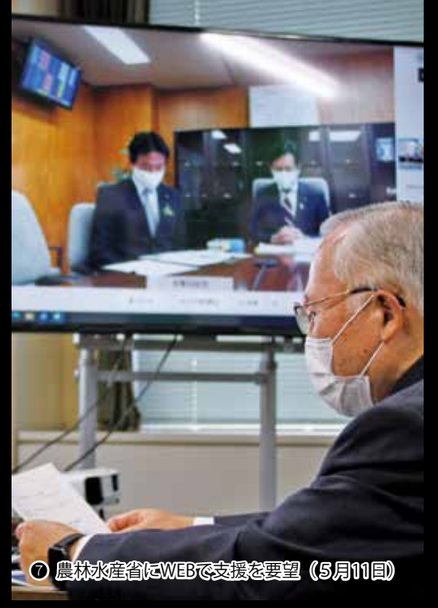
03　農業施設の再建について

国などの支援の活用や市独自の支援策を検討中

❽ 災害廃棄物の仮置き場（布引原地区）

❾ 被害を受けた茶工場（勝間田地区）

❿ 全壊した建物（布引原地区）


❼ 農林水産省にWEBで支援を要望（5月11日）

❶ 飛来物による電柱や電線被害（布引原地区）

❸ 突風で飛んだ屋根（布引原地区）

❷ 横転した車（布引原地区）

⓫ 全壊したイチゴハウス（勝間田地区）

⑤ 横転したトラック（布引原地区）

❻ 飛ばされたプール（坂部保育園）

④ 全壊した建物（須々木地区）